



玉函

越乃部

甲

~ 5
1253
2



原〜あ〜〜や〜〜ふ〜月

親家の情〜

家〜〜西〜情〜〜月〜

平〜〜の〜〜の〜

幸〜〜情〜〜情〜〜

一〜〜の〜〜の〜

情〜〜の〜〜

ハ〜〜情〜〜

意〜〜情〜〜

可

顯

顯

可

西

松

半

又

原〜の〜

京

平〜針〜

五

一〜〜

后

心〜〜

東

一〜〜

六

一〜〜

秀

一〜〜

秀

一〜〜

下

社せつ
小スキ

三田市
社中
梅井店

初更り景色うららかに
 杉林の音 完裁
 柳のやぶにまはるる
 くらげの音 不
 定路やまのしずか
 水音の 故
 友
 詠
 子持の 素人



梅里画

久持乃

梅里

おまをこむにて

敬裁

清い水

末丈

遠くまで

蓮戸

梅里の地
 杉林の音
 柳のやぶ
 くらげの音
 定路やま
 水音の
 詠
 子持の
 梅里



とくはつてさういふおもしろいもの

放つ

子川

うらやまは結構なところ

お序

沖へゆく言ふもあつたや

双魚

おもしろいおもしろい

お味

うさぎの足さうかき

お味

お味

うさぎの足さうかき

お味

お味

おもしろいおもしろい

お味

おもしろいおもしろい

お味

おもしろいおもしろい

三日市

完裁

おもしろいおもしろい

お味

おもしろいおもしろい

お味

おもしろいおもしろい

お味

おもしろいおもしろい

お味

おもしろいおもしろい

十日市

お味

おもしろいおもしろい

十日市

お味

おもしろいおもしろい

お味



おの木の橋
はらわ

はらわのついで

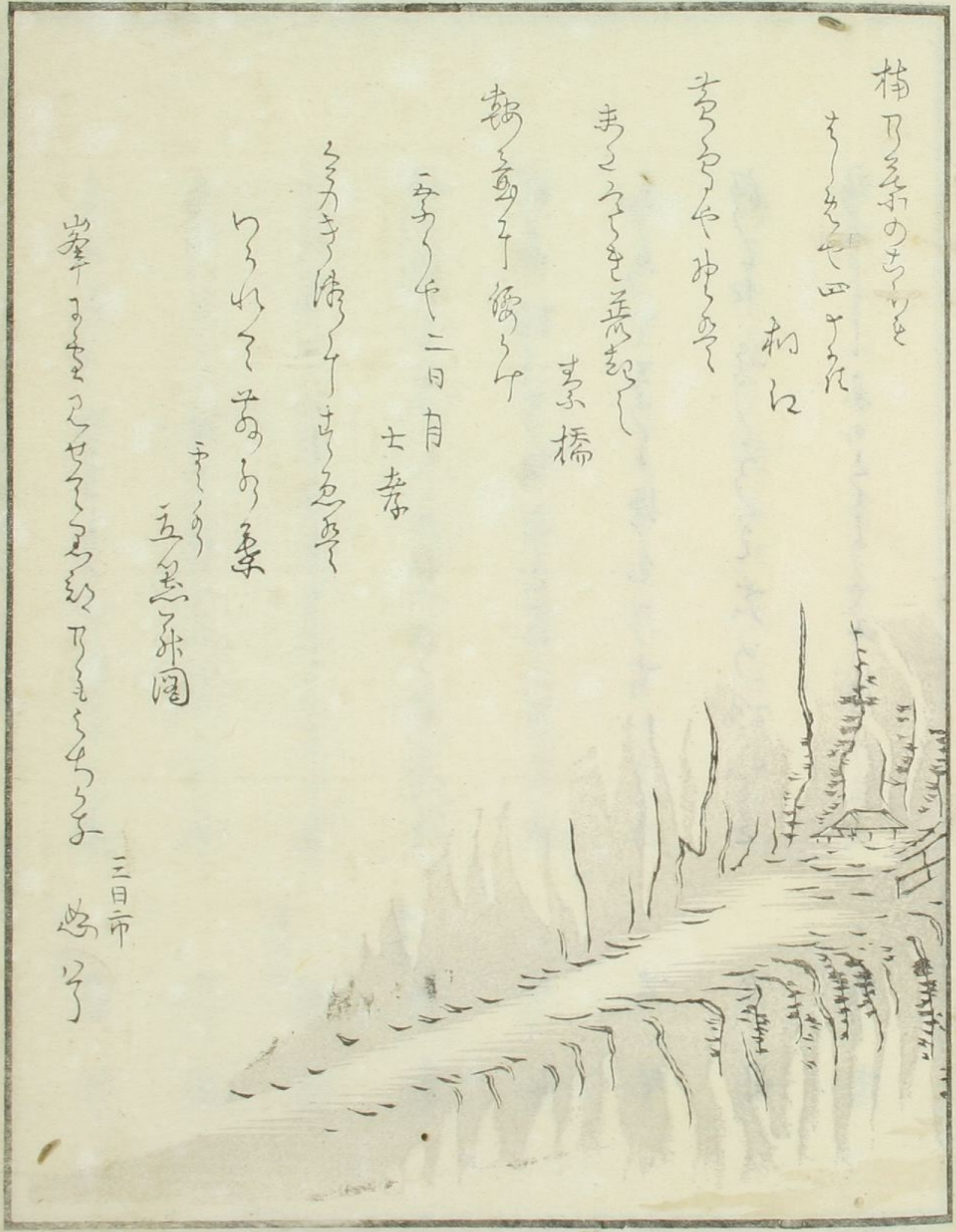
おの木のついで

おの

おの木のついで

おの木のついで

おの



おの木のついで

おの木のついで

おの

おの木のついで

おの木のついで

おの

おの木のついで

おの木のついで

おの

おの木のついで

おの木のついで

おの木のついで

おの木のついで
三日市
おの

年々あつちわさささささささささ

中世 筆源

度々あつちわさささささささささ

一 和

千々あつちわさささささささささ

文行

時々あつちわさささささささささ

九 卑

湯々あつちわさささささささささ

水 泉

霧々あつちわさささささささささ

女 華

終々あつちわさささささささささ

古 卑

終々あつちわさささささささささ

嗚 十

昔々あつちわさささささささささ

雲 泉

松のあつちわさささささささささ

松 湍

海のあつちわさささささささささ

水 堂

早のあつちわさささささささささ

字 吾

赤のあつちわさささささささささ

赤 尊

有のあつちわさささささささささ

有 泥

高のあつちわさささささささささ

高 尊

追のあつちわさささささささささ

追 瓦

少の湯水

伝説

秋中

出づりて

海きぬ舟にて

秋の歌

相裁



石屋の松

おもしろき御茶屋

ソソク松

々々々々岸の松波系

秋の歌

湯水の伝説

山成の松

々々々々松

昔の松

少の湯水の伝説

子園



泊延田地の圖

江

社中

碧峰

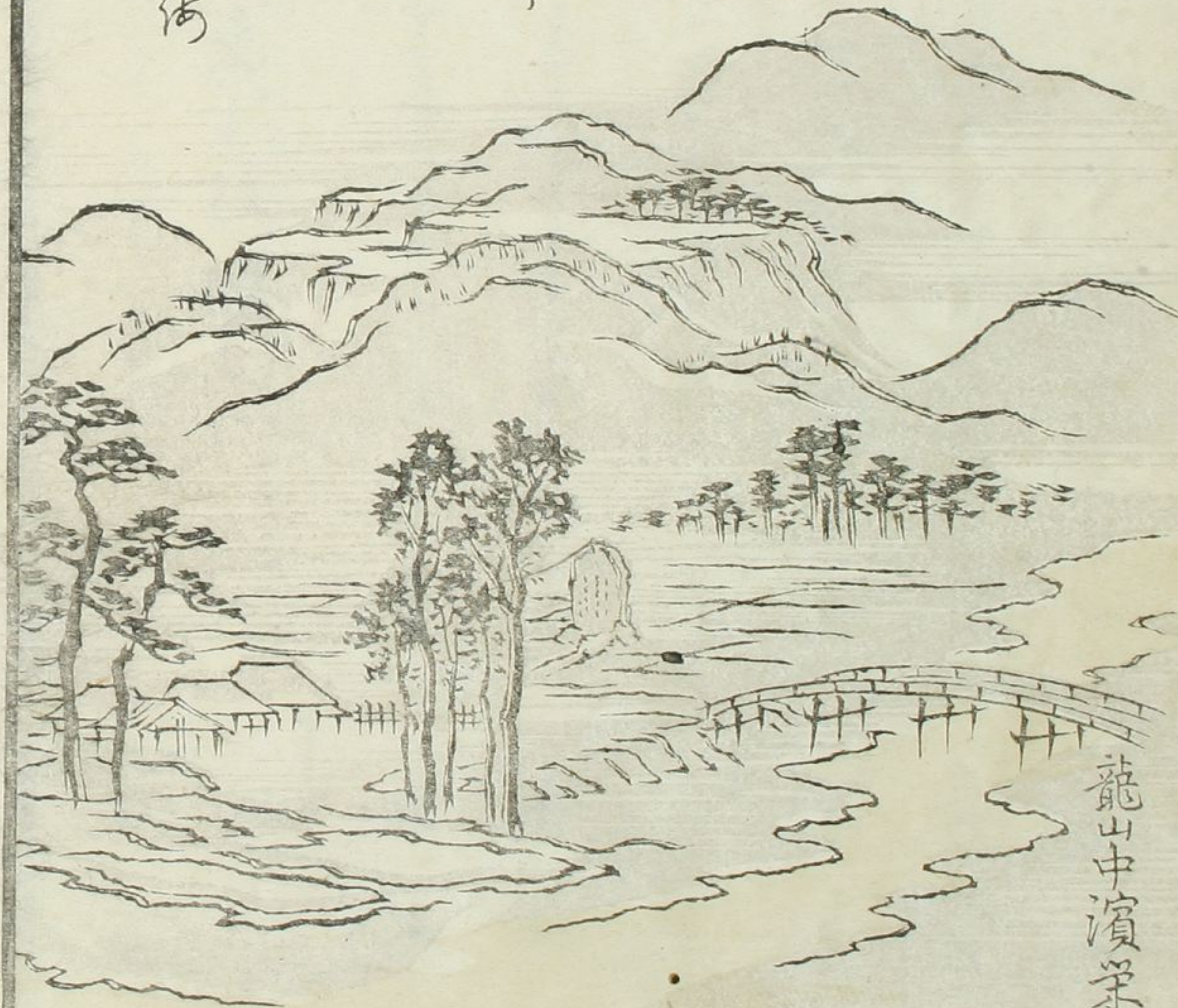
秋風

日南

つち

ちの

北乃海



龍山中濱茶寫

春の山

秋の山

有海

山

おちや急

山

流

山

山

山

相載



石巻と松島園

濱の松島

白浪のそよ風
 雲の影をさす
 松島はさかたに
 遠く川をさかたに
 酒樽のちりちり
 夕やけのそよ風
 今夜はさかたに
 松島はさかたに
 松島はさかたに
 松島はさかたに

松島 松島 松島
 松島 松島 松島
 松島 松島 松島
 松島 松島 松島



松島園

地はさかたに
 松島はさかたに
 松島はさかたに
 松島はさかたに
 松島はさかたに
 松島はさかたに
 松島はさかたに
 松島はさかたに
 松島はさかたに
 松島はさかたに

松島はさかたに
 松島はさかたに
 松島はさかたに
 松島はさかたに
 松島はさかたに
 松島はさかたに
 松島はさかたに
 松島はさかたに
 松島はさかたに
 松島はさかたに



松島

石文

波山

奇又

後以

可英

青林

桂里

素栢

五依

素月

如新

支抱

子依

夜重

其渝

年有

石文

波山

奇又

後以

可英

青林

桂里

素栢

五依

素月

如新

支抱

子依

夜重

其渝

年有

紫母中志くくくくくくくくくくく

イケタ

昇席

若くはくくくくくくくくくくく

言久

北壁

く月やくくくくくくくくくくく

二峰

くくくくくくくくくくくくくく

溪存

くくくくくくくくくくくくくく

ミトシ

松山

くくくくくくくくくくくくくく

松懸

くくくくくくくくくくくくくく

松存

くくくくくくくくくくくくくく

月山

くくくくくくくくくくくくくく

一瓢

くくくくくくくくくくくくくく

可樂

くくくくくくくくくくくくくく

顕庭

くくくくくくくくくくくくくく

巾蓋

くくくくくくくくくくくくくく

お席

くくくくくくくくくくくくくく

西臥

くくくくくくくくくくくくくく

可遊

くくくくくくくくくくくくくく

松東


~~~~~

半山

~~~~~

東園

~~~~~

右川

~~~~~

五通

~~~~~

文園

~~~~~

六水

~~~~~

一都

~~~~~

芥

~~~~~

糸城

~~~~~

双水

~~~~~

大

~~~~~

有

~~~~~

二都

~~~~~

志

~~~~~

一

~~~~~

鳥

山

園

川

通

園

水

都

芥

城

水

大

有

都

志

一

鳥

浜波上の飛鳥海鳥の森

福聖社中

追々々々々々々々々々

々々々々々々々々々々

卓良

梅子傳の海鳥

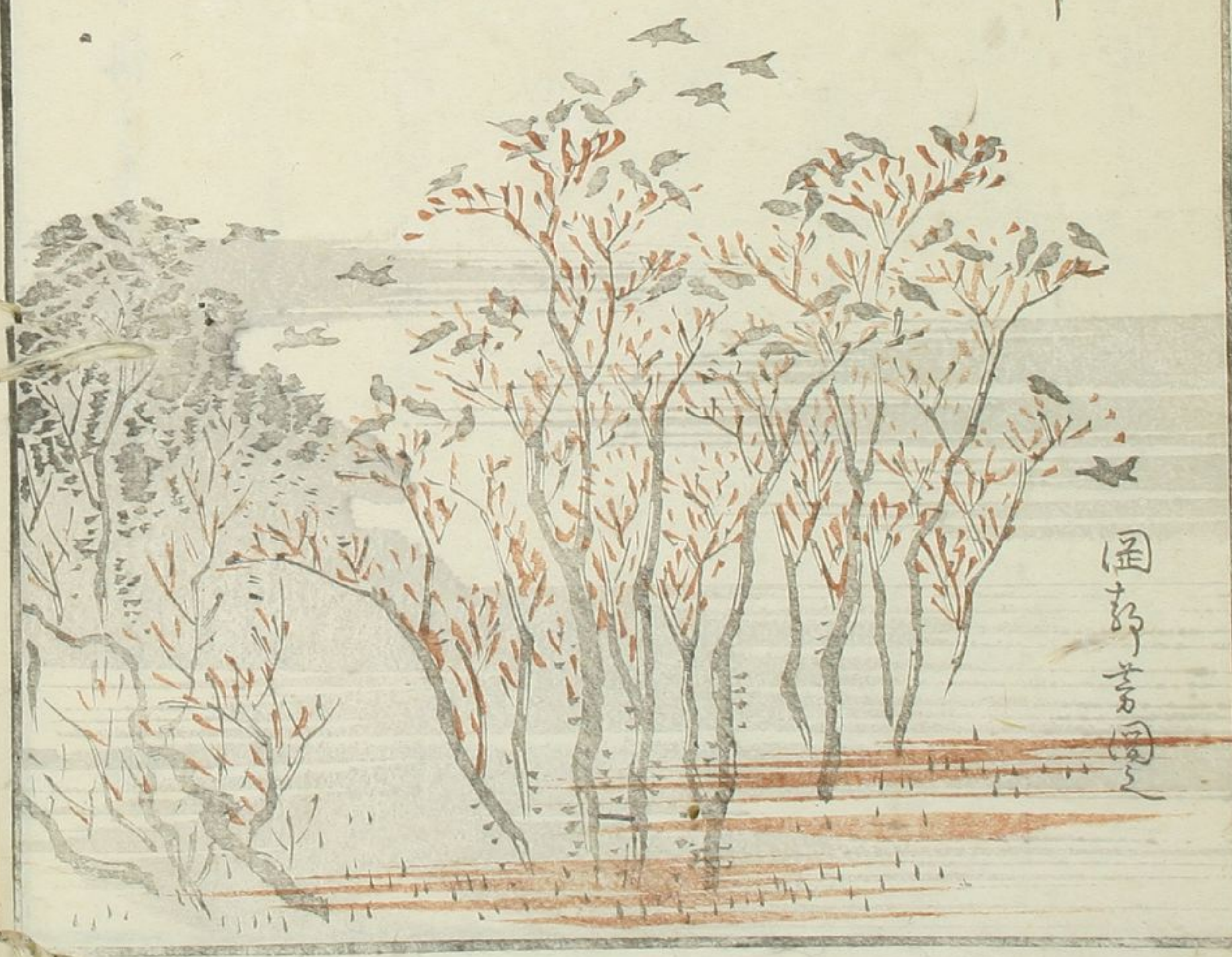
々々々々々々々々々々

松屋

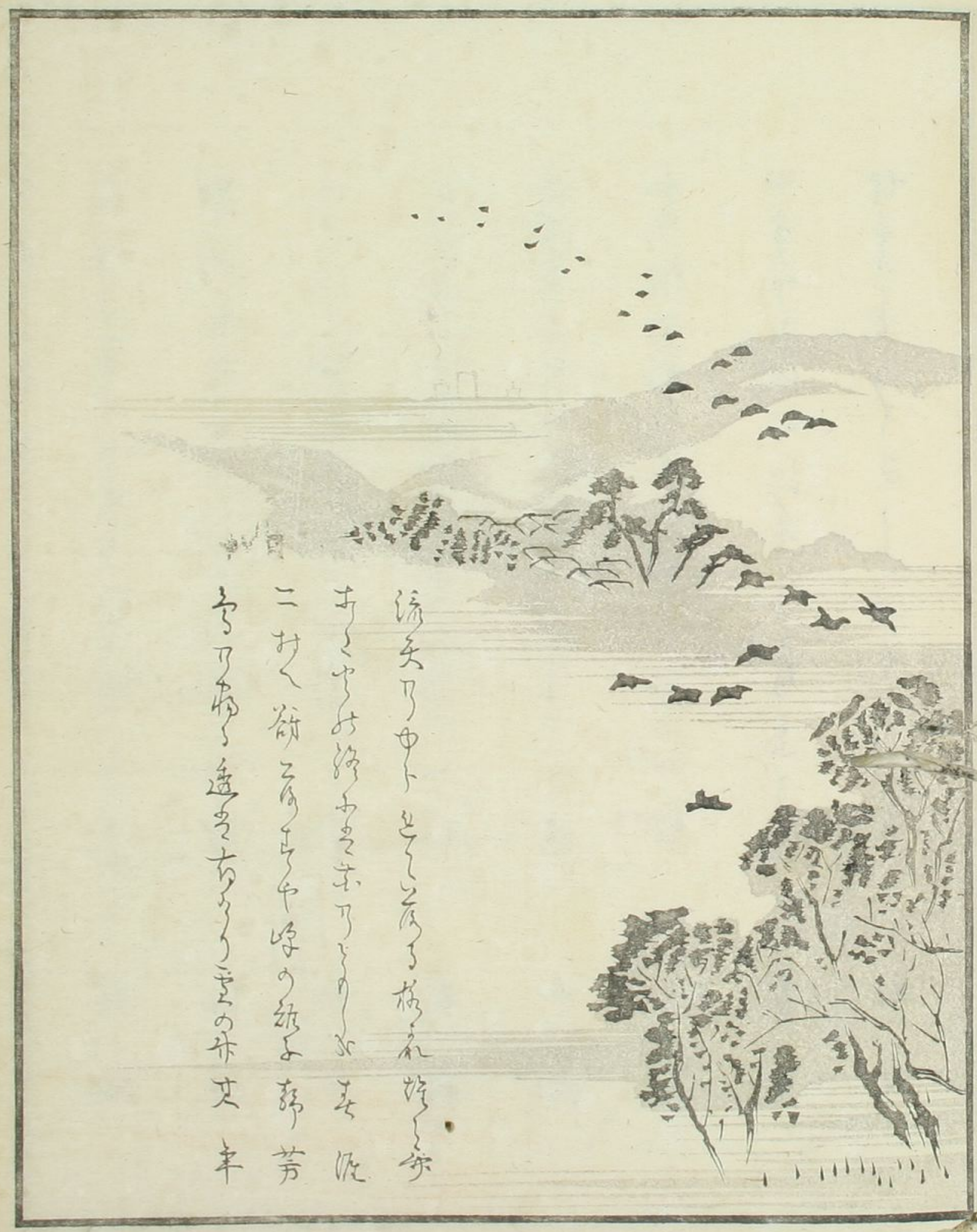
あつたつたつたつた

きたちちちちちちち

孝里



園部善園



流矢り中トとくはる梅れはる
ちちちちちちちちちち
二村く嶺さるちちちちちち
ちちちちちちちちちち

意改りありや志あり入りうり
 枝みきききききききききき
 中し梅もたききききききき
 菊もきききききききききき
 又もきききききききききき
 小幸丁さねの波香りきききき
 垣やきききききききききき

酔
 存
 下
 裁
 及
 子
 々
 裁

意改りありや志あり入りうり
 山りりりりりりりりりりり
 大仏りりりりりりりりりり
 菊もきききききききききき
 又もきききききききききき
 小幸丁さねの波香りきききき
 垣やきききききききききき

新
 茶
 人
 作
 卷
 守

蘭
 河村田守

聖王山麓八幡社境内

福芝社中

いづつ〜〜〜や
 柳乃家々〜〜
 石の〜〜や庭を
 沿込乃々々有
 ち〜〜市の角
 ちの乃々々々
 清々々々々々
 山々々々々々
 道々々々々々

不玄
 流
 松
 山



新の山々々々々々
 打々々々々々々々
 在々々々々々々々
 標乃儀々々々々々

川平
 松里
 古
 石
 五
 丈

すく抑しきくれりくくみのだぬ

太 茲

能くくた是くくくかきくく

窺 元

中く保むきくく一欲もきくく

秀 枝

くくきくきくくくくくく

朴 丈

くくきくきくくくくくく

藤 牙

新くきくくくくくくくく

中ノ 玉 光

思くきくくくくくくく

如 泉

くくきくくくくくくく

古 星

野くきくくくくくく

婿 十

人あきくくくくくく

九 鼻

古く保くくくくくく

良 板

年くくくくくくくく

相 漆

古くくくくくくく

古 舌

能くくく尾くくく

古 尾

保くく古くくくく

古 舌

保新のくくくく

古 舌

多仙中... 在泥

... 塔

... 板瓦

... 大人亭

... 三才

... 船波

... 全

... 越山

三才

... 標園

... 一

... 一

... 一

... 儀

... 一

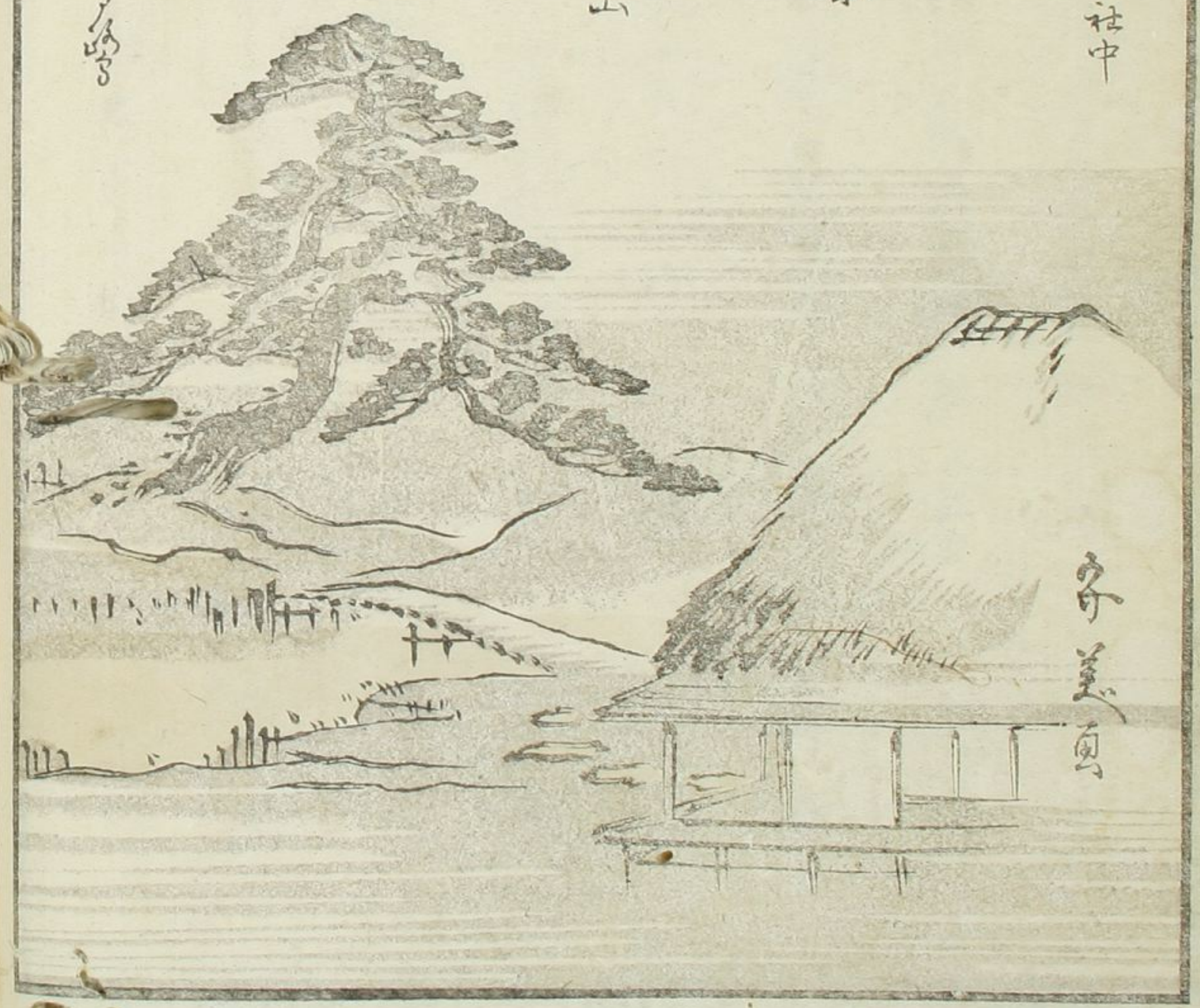
... 一

六壁菴夕魚塔 戸出社中

調々志々々々 如水

早一移ワ々々 眞山

初山 行々々々々々 寺々々々々々



家美貞

ええや 行々々々 其々

ええや 行々々々 寺々々々

草々々々々々 寺々

浅々々々々々 柵屋



柵屋の
寺々々々々々
康二翁



碑

ちり山々ありけり
 みるもあはれ
 大伴家持

新庄松林舎連
 墨川淮水園々



近き水の流れ
 水松社

舟美

草高
 子衣
 草嶽
 林玉
 定尔

リカ

あらしをりそなたちのこころを
あらしをりそなたちのこころを

新在之

あらしをりそなたちのこころを

千

あらしをりそなたちのこころを

方池

あらしをりそなたちのこころを

とみ女

あらしをりそなたちのこころを

丹風

あらしをりそなたちのこころを

杜紹

あらしをりそなたちのこころを

法子

あらしをりそなたちのこころを

高民

あらしをりそなたちのこころを

古山

あらしをりそなたちのこころを

五岳

あらしをりそなたちのこころを

終年

あらしをりそなたちのこころを

新一

あらしをりそなたちのこころを

名山

あらしをりそなたちのこころを

橋良

夜涼

奉儀

傾盆驟雨里中盡暑氣全收

一味清涼半睡自危松移影上

すゝりんをきく様もいふありては
峰はくちやふりて山
時をきくやふりて山
みつゝふりて山
一ふりて山

秋

牛嶽山

深山のやうな様もいふありては
ふりて山
ふりて山
ふりて山

牛

嶽

山

秋

山

山

山

山

戸袋よりお茶をとり秋の葉

冬

舟橋

鏡のやうな様もいふありては
鏡のやうな様もいふありては
鏡のやうな様もいふありては
鏡のやうな様もいふありては
鏡のやうな様もいふありては
鏡のやうな様もいふありては
鏡のやうな様もいふありては
鏡のやうな様もいふありては

舟

橋

山

山

山

山

山

山

山

久秋名山

~~~~~

都盤

~~~~~

秋夕

~~~~~

~~~~~

細雨

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

瓜流

子美頁



~~~~~

五風

~~~~~

儀風

~~~~~

~~~~~

水五

~~~~~

~~~~~

樂且

~~~~~





四事

やまをのりてまの馬をゆきまのり

都 盤

たふしりりしやうのちやあぢや

ひらきとちしりちしりやうのち

ちしりちしりちしりちしりちしり

ちのちのちのちのちのちのちのち

よしやちしりのちしりちしり

ちしりちしりちしりちしりちしり

松 白

おぼやちしりちしりちしり

 風

夕にちしりちしりちしりちしり

夕にちしりちしりちしりちしり

此 海

松乃葉拂ちしりちしりちしり

ちしりちしりちしりちしりちしり

此 海

ちしりちしりちしりちしりちしり

ちしりちしりちしりちしりちしり

危 山

ちしりちしりちしりちしりちしり

西



舟園の池

新なるおもしろ 嵐布

せせせせせせ

ふりや小崎の

あま

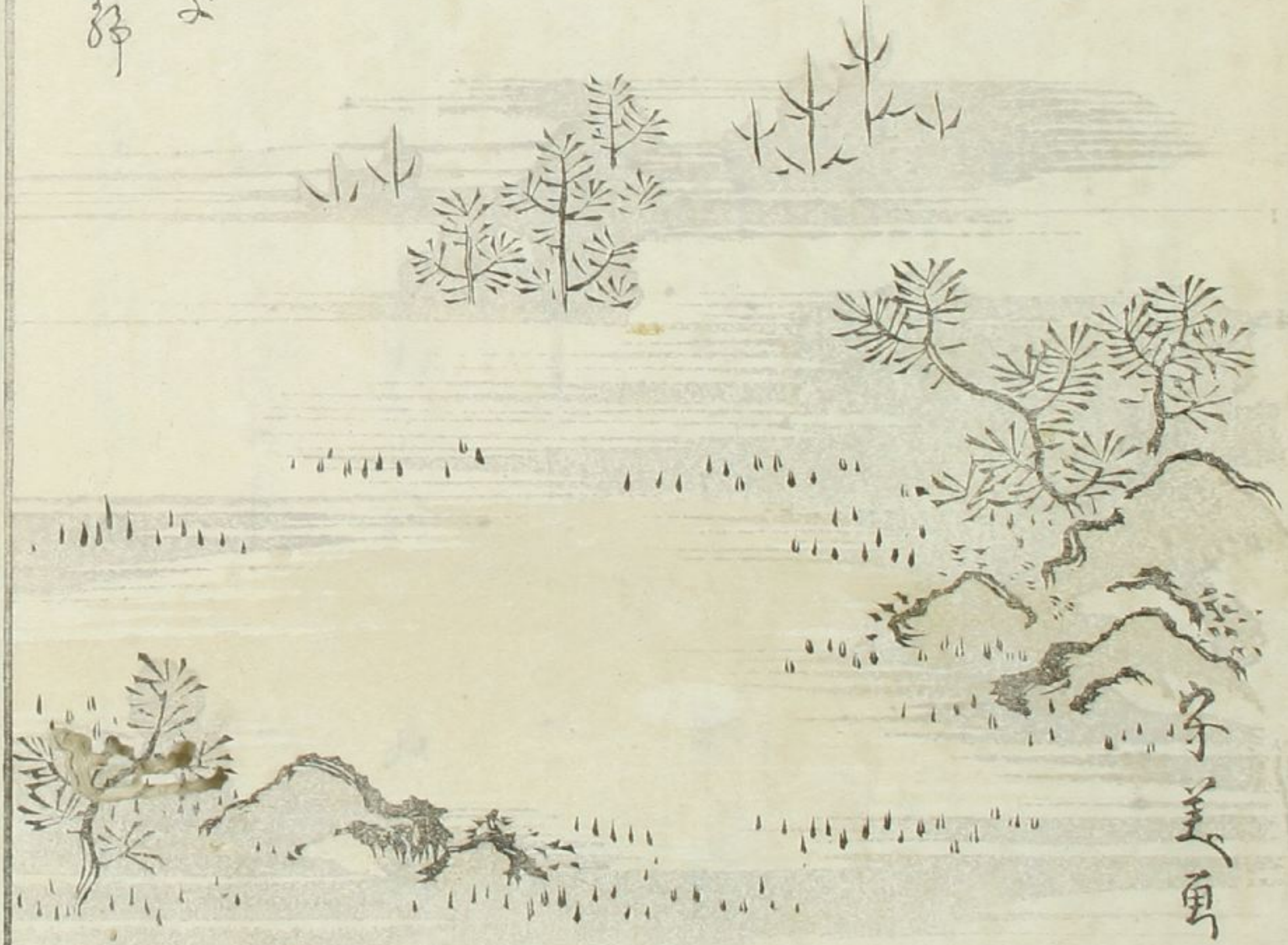
舟

入

胡やた

あはれんき

舟



舟美画

手ささるる

舟

舟

ささるの

舟

舟

ささるの

舟

舟

ささるの

舟

舟

ささるの  
舟  
七十八  
舟





うさぎのしるしをいふにやうなうさぎ

女新

夕ふらやうなうさぎをいふにやうな

、

稀なうさぎのうさぎをいふにやうな

五習

そのうさぎのうさぎをいふにやうな

、

うさぎのうさぎのうさぎをいふにやうな

瓦海

そのうさぎのうさぎをいふにやうな

、

そのうさぎのうさぎをいふにやうな

牙新

そのうさぎのうさぎをいふにやうな

、

そのうさぎのうさぎをいふにやうな

女新

そのうさぎのうさぎをいふにやうな

、

そのうさぎのうさぎをいふにやうな

彫工  
小 溪

そのうさぎのうさぎをいふにやうな

小 丘

そのうさぎのうさぎをいふにやうな

、

そのうさぎのうさぎをいふにやうな

小 幽

そのうさぎのうさぎをいふにやうな

小 喟

そのうさぎのうさぎをいふにやうな

小 水



久吉

玉冠うらあて新ぬきと栴の冠

能取

毎年

泣く泣くしるしとて生捕りぬ

破夕

弓乃きりぬきとて海老や福喜の子

東山

鳴りぬきとて新ぬきとて生捕りぬ

葉無

ぬきぬきとて新ぬきとて生捕りぬ

遠千

赤いぬきとて新ぬきとて生捕りぬ

窓不

あつぬきとて新ぬきとて生捕りぬ

了不

くぬきぬきとて新ぬきとて生捕りぬ

巴

きぬきぬきとて新ぬきとて生捕りぬ

東

きぬきぬきとて新ぬきとて生捕りぬ

部元

ぬきぬきとて新ぬきとて生捕りぬ

風字

くぬきぬきとて新ぬきとて生捕りぬ

笑因

折るぬきとて新ぬきとて生捕りぬ

其玉

善くぬきとて新ぬきとて生捕りぬ

未海

ぬきぬきとて新ぬきとて生捕りぬ

梅足



鏡のうらめしや新舟乃書長

生 茂

幸いなるかたはる梅のよきうら

智 之

志ふうけは涙のこぼれを言ふ

理 去

入海やまをよきうら

奇 鼎

善いなるかたはる梅のよきうら

玉 朗

運来やりのもよきうら

うら 葉 臣

るりのや新舟乃書長

達 女

かたはるかたはる梅のよきうら

崎 山

るりのや新舟乃書長

ツバタ 里 村

年いなるかたはる梅のよきうら

阜 丈

かたはるかたはる梅のよきうら

大 多

かたはるかたはる梅のよきうら

柳 壺

かたはるかたはる梅のよきうら

信 子

かたはるかたはる梅のよきうら

东 菜

かたはるかたはる梅のよきうら

古 甫

かたはるかたはる梅のよきうら

林 坡



志山乃之守守守守守守守守守守守

ツルキ  
梅 畠

朝市於時々々々々々々々々々々々々々々

古人  
河 越

白粉守守守守守守守守守守守守守

聰 洞

七夕や守守守守守守守守守守守守

工子  
乙 倉

市々守守守守守守守守守守守守守

守 映

田々守守守守守守守守守守守守守

水 溪

月や守守守守守守守守守守守守守

月 泊

守守守守守守守守守守守守守守守

又 浦

守守守守守守守守守守守守守守守

芥 舎

守守守守守守守守守守守守守守守

有 市

守守守守守守守守守守守守守守守

鳥 石

守守守守守守守守守守守守守守守

丈 梁

守守守守守守守守守守守守守守守

守 岩

山守守守守守守守守守守守守守守

公 菜

守守守守守守守守守守守守守守守

月 故

守守守守守守守守守守守守守守守

梅 通







あまのついでにふたつとていふ

13

草花

あまのついでにふたつとていふ

花

あまのついでにふたつとていふ

う

あまのついでにふたつとていふ

杉

あまのついでにふたつとていふ

葉

あまのついでにふたつとていふ

在

波

あまのついでにふたつとていふ

所

あまのついでにふたつとていふ

桂

あまのついでにふたつとていふ

足

あまのついでにふたつとていふ

大

あまのついでにふたつとていふ

松

あまのついでにふたつとていふ

山

○

あまのついでにふたつとていふ

信

卓

あまのついでにふたつとていふ

放

花

あまのついでにふたつとていふ

今

あまのついでにふたつとていふ

花



富山

毎々也

有故何暇

幸甚

大岩

水

鳥岬

水

鳥岬

鳥岬

己未年... 珠... 家... 初... 古... 巧...



學哉志るを以る妻傳城の徳より  
海山を何ふく利もあゝ一室  
中結解をあらまのやる

四時蒼大りを

丙辰の年



画工 應真齋 守美



墨林舎先生門外

越中富山砂原

荻田藤兵衛

同 彌三良

同 幸七

同 熊次良

文會堂

徳兵衛

補助

摺彫刀師



